

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	高規格救急車の接触危険
3. 体験した事例の中心的要素	高規格救急車(●●●●● ●●●●●●●)を機関員として運転、住宅地内の丁字交差点を左折しようとしたところ、交差点左角に建っていた電柱に車体側面を接触しそうになった。
4. 体験した事例の原因・理由	冬季の凍結路面であり、且つ路面が電柱方向に傾斜していたため、徐行で左折しようとした際にタイヤが左側へ徐々に滑り、車体が電柱に接近していった。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成17年某月某日 午後7時頃
2. 発生した当時の天候	わからない
3. 発生した活動現場	屋外：密集住宅街
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故
7. 事例体験時の活動	救急 その他:搬送途上
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	搬送中
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[36]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[13] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [機関員]
○当事者B	年齢[49]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[13] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [頻繁]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[29]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[4] 年、階級[消防士] 同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	傷病者の家族2名

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	A	Bの指示で搬送開始。	
経過2	A	現場周辺の狭隘な住宅街を徐行走行。	路面凍結。
経過3	A	丁字路に差し掛かり、徐行で左折開始。	十分に右へ寄ってから左折開始。
経過4	A	左折の途中、左サイドミラーに映る電柱へ車体が近付いているのに気付く。	
経過5	A	停車するが、車体は徐々に電柱へ寄っていく。	
経過6	B	下車して確認すると、タイヤが傾斜に沿って少しずつ滑り落ちている。	
経過7	B、傷病者の家族2名	3名で協力して車体左側面を押さえ、電柱との接触は免れる。	
経過8	A、B、傷病者の家族2名	3名に車体を支えてもらいながら、Aは救急車を少しずつ後退させる。	
経過9	A、B、傷病者の家族2名	協力により、電柱から離れることに成功。	
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 :事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合:ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力があった。避難退避がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



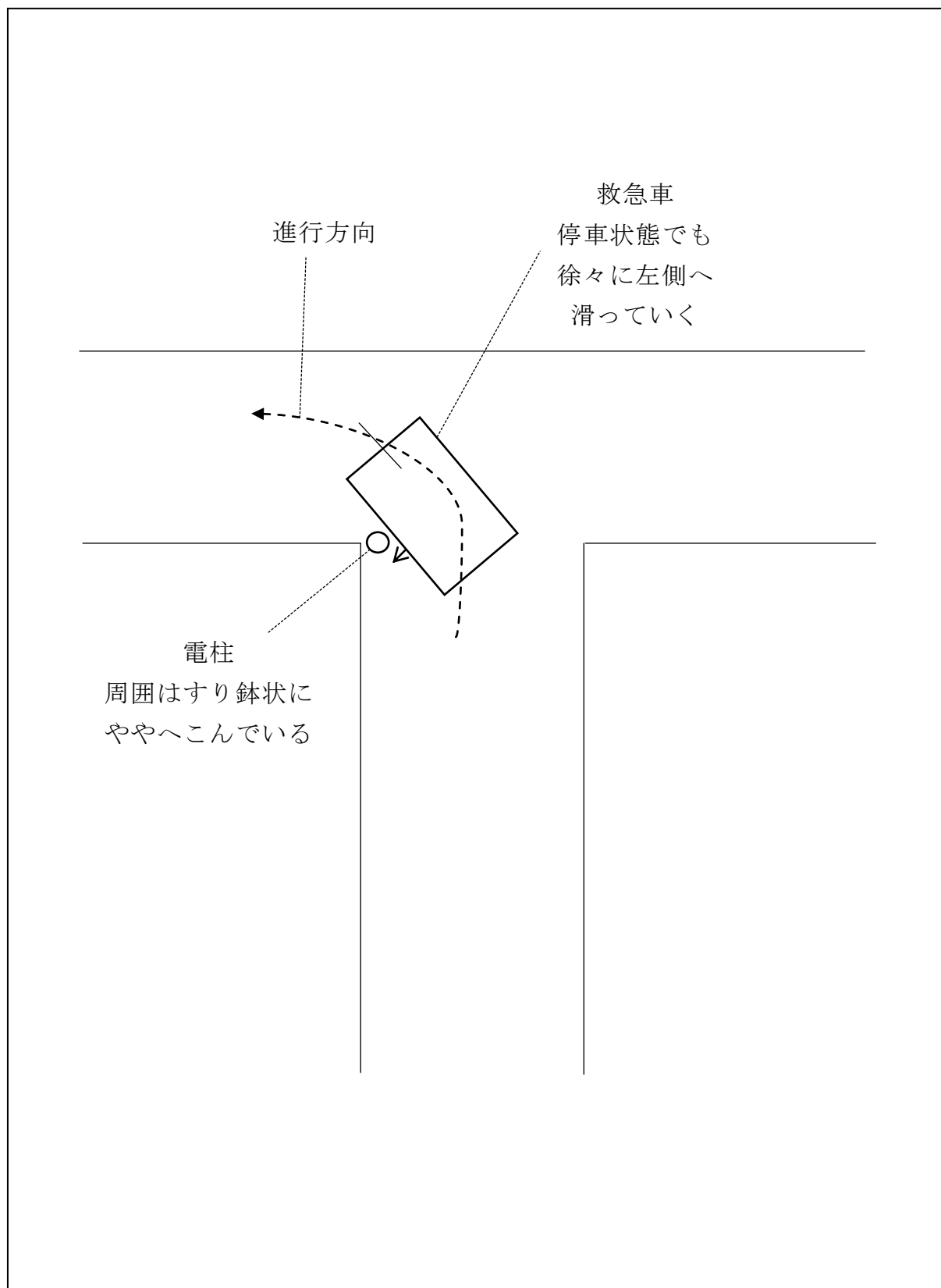
○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

ヒヤリハット事例 状況図①



ヒヤリハット事例 状況図②

